

今日、来られた救い主に賛美！



あゆみ

2018年

クリスマス号
WEB版

発行所

カトリック高幡教会
あゆみ編集委員会
TEL042(592)2463
FAX042(592)2464

希望の弁明

主任司祭 ロールド・ザビエル

私は母が聖書からイエスの話を読んでくれたことをよく覚えています。イエスが生まれて神の国について述べておられた場所に魅力を感じていたのです。私たちは皆、さまざまな映画や物語から、イスラエルの聖地を訪ねることなくイエスが御父から受けられた使命を果たしてこられた場所をイメージしているでしょう。そして、ニュースでイスラエルとパレスチナの間の戦争があり、心配事が絶えません。それに、旅行会社から十日間の巡礼の招待を受け取つ

て、成田空港からテルアビブへと二〇一八年十一月十二日高幡教会の五名の信者と一緒に旅立ちました。イスラエルで日本人の現地ガイドに助けられ、イエスが訪れた土地を訪問することができました。

カイゼリヤとハイファ市からはじめ、初日のミサをカルメル山で行いました。それから、順番に、ティベリアとガリラヤ湖のあたり、カペルナウムとマグダラの街を巡りました。北から、イエスが洗礼を受けたヨルダン川でミサを捧げ、エリコへ下り、クムランを通って死海に着きました。その後ベツレヘムに上り、ついに「永遠の都」エルサレムに着きました。

エルサレムでの三日間はとても素晴らしいかったです。エルサレムを見ると特別な憧れに包まれました。イエスが歩んだ受難の道に一步踏み出しましたとき、特別な恵みで我らの信仰が強められました。皆でエルサレムの都のため、そして、世界の平和のために祈ってきました。

巡礼の呼びかけのメッセージとして、聖ペテロの手紙から次の節を選びました。「あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい」。なぜなら、よく考えてみるとイエスこそが私たちキリスト者の原点だからです。

イエスは使徒トマスに言われました、「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである」。私たちは、イエスの昇天の後、時代に生きていた人たちとそれほど変わらなず、見ないのに信じているのです。逆に、多くの人はイエスを見ても、信じませんでした。体の目で見ましたが、神の子を認識するためには他の目が必要だったのです。ペトロの最初の手紙では、例えば、「あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛し、今見なくても信じており、言葉では言い尽くせないすばらしい喜びに満ちあふれています」と。確かに、私たちが今信じているのは見たからではありません。主が訪れた場所を自分たちの目で見ただけで、今はもっと信じるようになつたと言つてもいいでしょう。それは福音でしょう。



最後の晩餐の後、イエスか歩いた
オリーブ山への階段

山上の説教の教会



羊飼いの屋の教会

↑
主のご降誕おめでとーございます。
帰国するため十一月二十一日に
空港へ向かう途中、遠くからエマ
の村を見ました。二人の弟子がイ
スのパンを裂くときに出会い、彼
の心の中にイエスの存在の温かさ
を感じたように、私たちもイエス
を見て情熱と喜びを抱いて戻つて
きました。今回の旅によって、私
の心に抱えている希望の弁明を
から出会う皆さんに少しでも伝え
ることができれば幸いです。



ゲッセマネ園のオリーブの木



嘆きの壁



主の変容の教会(タボル山)

信徒会だより

信徒会委員長

私からの信徒会だよりは、最後となります。一月二十七日の信徒総会に向けての資料作りで、一年が終わろうとしています。信徒の皆さん、そして、委員の皆さんに心から感謝申し上げます。十月のあゆみ秋号以降についての活動を報告いたします。

●十一月十一日 七五三と米寿のお祝い

Aさん(三歳)、Bさん(五歳)、Cさん(五歳)、Dさん(七歳)、Eさん(五歳)の五名の子供たちが七五三の祝福を受け、そして、米寿を迎えられたFさんのお祝いをいたしました。



神父様から七五三の祝福を受ける

●十一月十八日大掃除その後AEDの講習会
高幡教会に九月に新たに設置されたAEDは、心肺蘇生のための胸骨圧迫を誘導指導してくれる優れた機種で、二十名強の方の参加で実施されました。

●十一月二十三日 ザビエル祭 高幡からも出店

今回は、多摩西宣教協力体の三教会で、一つの出店ではなく、八王子は、焼きそば、高幡は、シチューとパンということ、シスター笠松と信徒八名で参加しました。快晴でしたが、少し寒く、百二十六食完売し、神学校に寄附出来ました。



高幡教会のお店です



ザビエル祭の最後に神学生全員の挨拶がありました

●十一月二十五日 拡大委員会

降誕祭のパーティーや朗読奉仕グループの役割について、議論をしました。聖書朗読について、信徒の皆さんが考える良い機会となったのではないのでしょうか。

●十二月二日 黙想会・ゆるしの秘跡

エミリオ・マルチネス神父様(ドミニコ会)に「イエスの存在の喜び」をテーマに待降節の講和をして頂きました。ゆるしの秘跡は、マルチネス神父様、飯田徹神父様(サレジオ会)とザビエル神父様から受けました。

●報告事項 ○朗読グループ

十一月の拡大委員会で、地区委員の方々

来年二月十七日に高幡教会で、姉妹教会交流会礼拝が行われます。そのための第一回の準備会で、当日の式次第の案が永山教会から提出され、議論しました。

●十二月二日高幡教会で姉妹教会打合せ



講話中のエミリオ・マルチネス神父様



黙想会の講話の様子

のご意見を頂き、十二月の委員会で、主日の朗読で、地区で埋まらない分について、朗読グループで担うことになりました。聖書朗読の重要性を改めて意識し、聖書朗読勉強会を開催するとともに、シスター清水に地区会に出席して頂き、朗読についてのお話をして頂けることになりました。

○エレベーターピット内の不具合

六月、九月と二度の保守点検時にEVピット内に水が溜まっていたため、十一月二十一日に臨時の点検を行いました。今回は、水は溜まっていませんでした。

今後、EVの定期点検である来年三月、九月の経過を見ることにしました。

○議事録の掲示板への掲載について

十一月の信徒委員会で、信徒委員会、財務委員会、創立五十周年プロジェクト会議について、十一月分から議事録を掲示することになりました。見て頂き、ご意見を頂ければ幸いです。

○高幡教会ホームページがタイムリーに更新

クリスマスにはじめての方々にも来て頂くように更新されています。

左のURLをご覧ください。
<http://www.cctakahata.jp/>

二〇一八年十一月十二〜二十一日

聖地イスラエル巡礼

食事の時、今の子供なら、先ず美味しそうなものから食べ始めるが、私は子供の頃、一番美味しそうなものは最後まで大事にとっておいた。今回のイスラエル巡礼は、私がこれ迄、長い間大事にとっておいた旅である。

家内にとつては、叶えられないかも知れないと思っていた夢の巡礼であった。

今回の巡礼は、団長である高幡教会主任司祭・ロールド・ザビエル神父様、添乗員のGさん(吉祥寺教会所属)、現地ガイドのHさん(エルサレム在住二十年)、運転手のIさん、そして同じ高幡教会のJご夫妻、Kさんと私共夫婦の総勢九名の正に家族旅行のようなものであった。

ザビエル神父様は持ち前の明るい性格に加え、イタリア語も含め数か国の言葉を駆使され、行く先々で誰とでもすぐに親しくなっておられた。又、いろいろなレリーフ、模様、記号などが描かれたり、彫られたりしている絵や建造物について聖書も引用して詳しく説明して頂いた。卓球が抜群に上手であることも死海・エンボケツクのホテルで披露頂いた。

ミサは移動日を除いて毎日あったが、十一月十四日(水)、カナ(キリストが結婚式で



ガリラヤ湖のペトロ首位権教会での野外ミサ



上:ナザレお告げの教会

下:ガリラヤ湖

水を上等の葡萄酒に変えた、最初の奇跡を行った所「ヨハネ・バプティスタ」の教会では、サブライズの「結婚更新」が行われ、Jさんご夫妻と私共夫婦に、カナの教会発行の結婚更新証明書にザビエル神父様が署名して下さいました。

世界最古の町と言われていた、エリコ(善きサマリア人の話:ルカ 10:30-37)、イエスが悪魔から誘惑を受けた所「マタイ・ターム」で、BC 八千六百年(約一万一千年前)の城壁の遺跡を見たりしていると、イエスの時代の出来事は、遠い昔の出来事ではなくて昨日のこのようにも思われた。

又、パウロがローマへ船出した港町・カエサリアで近年(一九六一年)発見された、ポンティオ・ピラトの碑文や、マグダラのマリアの村で最近(二〇〇九年)発掘された、ガリラヤ地方最古(紀元一世紀)のシナゴグの遺跡を見ていると、イエス・キリストの存在が身近に感じられた。そして、タイム・スリップして聖書の世界を辿っているような巡礼でもあった。

十一月十七日(土) ベトレヘムの生誕教会では二時間待つて、銀の星がはめ込まれたあなた(キリスト)の誕生の場所、あなたと会えることができました。そして翌十八日(日)にはエルサレムにある聖墳墓教会でも二時間待つてあなたの墓所であなたと会えることが



カナの教会

できました。今回の巡礼で生まれ変わった(我に返った?)方がいるようです。私も生まれ変わってあなたに倣って歩んで行きたいと思ひます。

恵み溢れる感動の巡礼に感謝いたします。



エルサレム 主の祈りの教会



聖墳墓教会

備考:上述の町以外の主な巡礼先は以下の通りです。

1. エルサレム・悲しみの道 (Via Dolorosa)
|| 十字架の道行き (マタイ 27.11-50 他)
 2. ステラマリス修道院
 3. ナザレの受胎告知教会
(ルカ 1.26-38 他)
 4. 変容の教会 (タボール山)
(マタイ 17.1-13 他)
 5. 山上の説教の教会 (至福の山)
(マタイ 5.1-11 他)
 6. ペトロの家 (カファルナウム)
(マルコ 1.29-31 他)
 7. マグダラ (マタイ 9.20-22 他)
 8. ガリラヤ湖遊覧
 9. パンと魚の奇跡の教会 (タブン)
(マルコ 6.30-44 他)
 10. ペテロの首位権 (召命) 教会 (タブン)
(マタイ 21.15-19 他)
 11. クムラン (死海文書)
 12. 死海遊泳
 13. マサダ (AD70年、エルサレム陥落後、
ダヤ人最後の抵抗の要塞)
 14. 羊飼いの野の教会 ルカ 2.8-20
 15. 聖母訪問教会及び洗者聖ヨハネ教会
(エンカレム) (ルカ 1.39-56 他)
 16. イスラエル博物館
 17. 鶏鳴教会 (エルサレム)
(マタイ 26.69-75 他)
 18. 主の祈りの教会 (エルサレム)
(ルカ 11.1-4 他)
 19. 主嘆き給う教会、ゲッセレ
(オリブ山) (ルカ 19.41-44 他)
 20. エルサレム・神殿の丘
(マタイ 21.12-17 他)
- 等々

◆高幡教会のミサ時間◆

日曜日＝午前9時・11時

平日＝火曜日 17:30

金曜日 10:00

初土＝月の初めの土曜日 11:00

メルセス＝火曜日、木曜日 07:00

◆ザビエル神父様ご指導の講座◆

★聖書を読む会★

毎週金曜日ミサ後

★カトリック入門講座★

土曜日＝17:30～18:30

※他の曜日等の希望がある場合は
神父様と個別に相談して下さい

★教会行事(12月30日～1月27日)

- ・12月30日 聖家族
- ・1月1日 神の母聖マリア
元旦ミサ(11:00 1回)
- ・1月6日 主の公現
新旧信徒委員会(12:30)
- ・1月13日 主の洗礼
成人のお祝い(11:00 ミサ)
- ・1月20日 年間第2主日
- ・1月27日 年間第3主日
信徒総会(9:00 ミサ 1回)



<編集後記>

ザビエル神父様の身近に一年間いて、日本に来て六年目、日本語への対応能力の卓越さに驚嘆しています。目を閉じて主日のお説教を聴いていても、全く違和感を覚えません。八月叙階十五周年を高幡で迎え、十一月聖地巡礼を高幡の皆さんとされ、思い出深い高幡となったのではないのでしょうか。これからも、私たちのために宣教活動が続けられますよう祈り続けたいと思います。